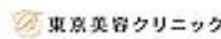




2023 AUTOBACS SUPER GT Round7 AUTOPOLIS GT 450km RACE



予選 4位 / 決勝 優勝



オートポリス 初の450km 優勝！

APでは初となる450km、サクセスウエイトは75Kg。今回は新たに野中選手を迎え、チーム一丸となって挑みます。

● 10/14(土)

晴れてはいるものの風が強く、気温も上がり路面温度は20℃。これまでの暑さとは違う中、公式練習ではロングを試しタイヤの状態を確認。予選はAグループ。抜きにくいコースなので予選で上位になることが必須。絶対に落とせないQ1を担当。入念にタイヤに熱を入れてアタック、無事2番手で突破。重さがある中でもしっかり合わせこむことができました。Q2は吉田選手が担当、4番手。決勝でセカンドローを獲得。一方、トップ3とはタイム差があったので原因を分析。優勝を目指し、やれるだけの準備をしました。

● 10/15(日) 決勝

気温22℃路面温度20℃、寒さを感じる決勝日。2回のピットストップと1回の給油が義務。決勝はスタートドライバーを担当。タイヤの信頼度も高く、決勝には自信がありました。ポジション維持でスタートし、序盤から積極的に前を追います。早々に前の車両に肉迫、#31が早めにピットに入り3位に浮上。その後、#61を抜き去り2位にアップ、続いてトップの#2に接近。冷静に後ろから#2の挙動を確認。抜きにくいオートポリスでは、タイヤを傷めないよう一発で仕掛けなければなりません。相手の動きを予想し第2ヘアピンで仕掛け、一気にトップに立ちました。この後はとにかく後ろを引き離すよう走行。1回目のピットは給油のみ、タイヤは無交換を敢行。ピット時間を削って後続との差を広げる作戦。FCYが4回入ったことで、思ったほどは広げられませんでした。2スティントを走り切り、52周で2回目のピットイン。タイヤを交換し、吉田選手に交代。メカニックの迅速な対応で、ポジション維持の1位でコースに復帰。その後当チームより12周遅くタイヤ交換した#2の猛追を受け残り20周でテールトゥノーズ。何度か肉迫されるも当コースのアンバサダー吉田選手が鬼ブロック。手に汗握る中、1位でチェッカーを受けました。

オートポリスでは、昨年に続く二連勝。ご支援ご声援、誠にありがとうございました。

11/4-5、最終戦モテギはノーウェイト。ランキングトップで2位とは20ポイント差。今シーズンを締めくくる大会として、平常心で挑みます。引き続き、応援のほどよろしくお願いいたします。